

銀行における個人情報の取扱いの現状等について
～ 預金業務を中心にして

1. はじめに

- (1) 預金業務と貸出業務の違い

2. 情報の取得について

- (1) 預金等業務での取得情報の変化

3. 利用の実情について

- (1) 利用目的の説明
- (2) 銀行内での情報の共有
- (3) グループ内での共同利用

4. 第三者提供・安全管理措置について

- (1) 第三者提供の実情
- (2) 安全管理措置の実情

5. F I S C 指針と業界自主ルールについて

- (1) F I S C 指針
- (2) 業界自主ルール

6. 終わりに

- (1) 保護と利用のバランス

預金等の取引で取得する情報～UFJ銀行の投資信託の例

投資信託の口座開設申込み時に本人から取得する情報
 ～ の項目は顧客カードとして整備が定められているもの(日証協規則)
 以下は任意回答のアンケート項目
 取得・利用目的は、申込書上に以下の通り記載

「投資信託のお申込みにあたり、お客さまに適した投資信託をご紹介させていただくための参考にしたいと考えておりますので、お手数でございますが、以下の項目についてご記入くださいますようお願いいたします。」

項目	詳細、選択項目等			
ご本人の属性	氏名、性別、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号			
勤務先	会社名、住所、電話番号、役職名			
ご職業	企業経営者 管理職(公務員) 専門職(医師等) パート・アルバイト 無職(年金受給)	会社役員 会社員 専門職(弁護士、会計士等) 専業主婦 自営業	管理職(会社員) 公務員 学生 その他	
取引動機	紹介 電話	DM 店頭勧誘	新聞・TV広告 その他	訪問
証券投資経験	株式 公社債 株式投信	信用取引 MMF/中国ファンド 外貨預金	外国株 その他公社債投信	外国債券
投資目的 (資産形成の方針)	元本の安全性を最優先させる 元本の安全性と安定収入の両方を追求 利子・配当等のインカムゲイン(定期的な収入)があることを重視 上記を優先するが、あわせて投資資産の価値の増大も追求 投資資産の価値の大幅な増大を優先させるが、上記にも配慮 長期的(5年以上)視野に立ったキャピタルゲイン(値上り益)重視 中期的(1～5年)視野に立ったキャピタルゲイン重視 短期的(1年以内)視野に立ったキャピタルゲイン重視			
金融資産	～3百万円 ～3千万円	～5百万円 ～1億円	～8百万円 1億円以上	～1千万円
年収	～3百万円 ～3千万円	～5百万円 ～1億円	～8百万円 1億円以上	～1千万円
住居	持ち家(自分名義) 賃貸	家族の持ち家 その他	社宅・寮・官舎	
ローンの有無	住宅ローンあり	その他ローンあり	ローンなし	
家族構成	配偶者あり 子供()人、一番上の子供の年齢()歳 配偶者なし			
日経平均株価	頻繁に見ている	時々見ている	特に見ていない	
為替相場	頻繁に見ている	時々見ている	特に見ていない	
購読新聞	日本経済新聞 産経新聞	毎日新聞 中日新聞・東京新聞	読売新聞	朝日新聞 その他
海外居住経験	あり	なし		